

# ジオスペース館だより

## ★ 今月の星もよう ★

1月中旬夜8時頃の星空を見てみましょう。秋の星座は西に傾き、南から東の空には冬の星座が広がっています。冬の星座には1等星（全天で21個）が7つもあり、1等星が1つ（フォーマルハウト）しかない秋の星空とは違って冬の夜空はとても賑やかです。冬の星座で最初に昇ってくるのは「おうし座」で、「おうし」の右目を表すオレンジ色の1等星がアルデバランです。東には「オリオン座」が続き、その「オリオン座」の赤い1等星ベテルギウスと、「こいぬ座」の1等星プロキオン、「おおいぬ座」の1等星シリウスでつくる三角形を《冬の大三角》といい、冬の星座を探す目印です。この他にも1等星は「オリオン座」のリゲル、「ぎょしゃ座」のカペラ、「ふたご座」のポルクスがあります。さて、「オリオン座」は冬の夜空で1番目立つ星座で、2個の1等星と2個の2等星が長方形をつくり、中央に3つの2等星が並んでいます。「オリオン」の右肩で輝く赤色のベテルギウスは、直径が太陽の1,000倍ほどにもなる赤色超巨星で、最後は超新星爆発を起こすといわれています。一方、「オリオン」の左足で輝くリゲルは青白い色をしています。星の色の違いは、星の表面温度の違いによるもので、表面温度が低いと赤く、高いと青白く見えるのです。ベテルギウスの表面温度は約3,500℃、リゲルは約12,000℃もあります。

図はステラナビゲーター11を用いて作成



## ★ へいけぼし(平家星)・げんじぼし(源氏星)

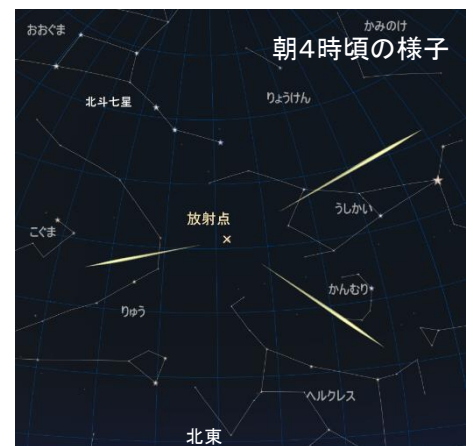
「平家星」、「源氏星」はオリオン座の2つの1等星の和名です。岐阜県揖斐地方では、赤いベテルギウスを「平家星」、青白いリゲルを「源氏星」と呼んでいました。昔、平家は赤旗、源氏は白旗を掲げて合戦を繰り広げたことから、赤いベテルギウス=平家、青白いリゲル=源氏に例えたものです。また、オリオン座全体を呼んだ和名もあり、鼓の形に見立てた「鼓星」、中央がくびれているので「くびれ星」などの星名が伝わっています。

## 【星の和名のお話】



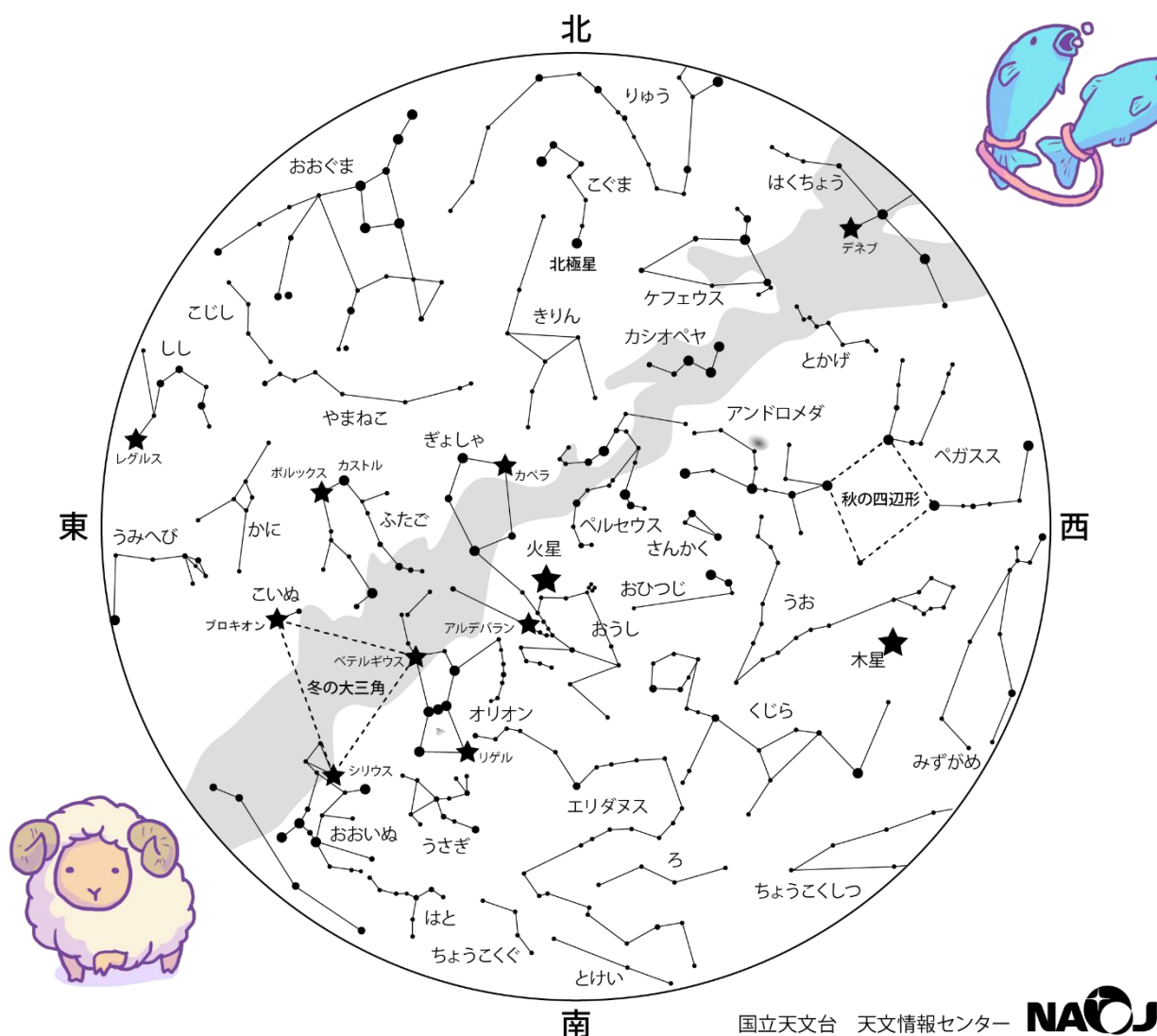
## ★ しぶんぎ座流星群が極大！

年始恒例の天文イベントはしぶんぎ座流星群の出現です。しぶんぎ座流星群は、8月のペルセウス流星群、12月のふたご座流星群とともに三大流星群の一つですが、今年は1月4日の昼12時頃に極大を迎え、見頃は4日の明け方4時頃になります。月が沈み、放射点が高くなる5時頃に、最も多くの流星を見ることができそうで、この時に見える流星の数は、空の暗い場所で1時間あたりおよそ25個と予想されます。しかし、しぶんぎ座流星群は、活動が活発な期間が極大時の前後数時間と短く、年によって出現数が変化しやすいので、毎年多くの流星が見られるとは限りません。とても寒い時期なので、しっかりと防寒対策をして観察してみましょう。



★ プラネタリウムは、工事のため1月～3月は休館します ★

# 1月下旬午後8時頃の星空



## ★ 1月上旬の主な天文現象

1日(日)	元旦・初日の出	6日(金)	小寒 <small>しょうかん</small>
3日(火)	おうし座 <small>ぎ</small> 37番星 <small>ぼんせい</small> の食 <small>しょく</small> 、 夕方～翌未明に月と火星が接近 <small>かせい</small>	7日(土)	〇 満月 <small>まんげつ</small>
4日(水)	しぶんぎ座流星群 <small>りゅうせいぐん</small> が極大 <small>きょくたい</small>	13日(金)	ZTF 彗星が近日点通過 <small>きんじつてんつうか</small>
		15日(日)	● 下弦 <small>かげん</small>

## ★ 国際宇宙ステーション(豊川での主なデータ 1/1~15) ※下記時刻は、予想値です

◇	1月	5日(木)	[見やすさ ◎]	6:11	北西	~	6:18	東南東
◇	1月	6日(金)	[見やすさ ◎]	5:25	北	~	5:29	東南東
◇	1月	7日(土)	[見やすさ ◎]	6:12	西北西	~	6:18	南南東
◇	1月	8日(日)	[見やすさ ◎]	5:26	天頂	~	5:30	南東

豆知識：国際宇宙ステーション (ISS) は、明るい星が動いているように見えます。  
飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。